

BIGIRION 入試では、プログラミングを用いて社会や世界の課題解決に貢献できる素質(素養)を評価します。プログラミングの実行動画とその説明文を提出し、入試当日にプレゼンテーションを行います。プログラミングに関する知識・技術も評価観点に含まれますが、作品の創造性・デザイン・世界観も評価の対象となります。

BIGIRION入試で求める生徒像




貢献しようとする力

他者や社会に貢献しようとする姿勢を持つ。



課題を見つける力

経験や気づきから課題を発見することができる。



カタチにする力

課題をもとに仮説を立て、解決に導くためにプログラミングを使ってカタチにする。

提出する作品	
プログラミング の実行動画	・プログラムが実行している動画を2分以内で収録して提出してください。 ・提出動画ファイルは、MPEG/mp4/MOV (200MB以下)のいずれかの形式で作成してください。
プログラムの ソースがわかる もの	・JavaScript、Python などプログラミング言語で作成した方 →電子データ (メモ帳やテキストエディタで読み込める状態)で提出してください。 ・Scratch などビジュアルプログラミング言語で作成した方 →プログラミングしたデータを提出してください。 ・ソースコードが複数ある場合は1つのフォルダに入れて、zipに圧縮し、1ファイルで提出をお願いします。
プログラミング の作品紹介 テキスト	作品の名称、自分のプログラムは何をするものなのか、どんなところで苦勞してどう改善したのか、工夫した点など作品について自由に記述してください。

BIGIRION 入試の評価の観点

プログラミング の正確性	プログラミング言語や表現ソフトを活用・運用する力を評価します。
創造性	プログラミング言語や表現ソフトを活用・運用して、自分なりの独自表現ができているかを評価します。
デザイン	プログラミング言語や表現ソフトを活用・運用した作品の目的や機能性を評価します。
世界観	プログラミング言語や表現ソフトを活用・運用して、他者に新たな価値、感動を与えられるのかを評価します。

上記を総合して、次のプロセスを評価します。

